



ホームページは 議構成 こちらから→ 温度収 回気流





学校教育目標 自立·共生·自己実現

学校だより ちょうようざん



INFORMATION

自分たちで考えた運動会種目をシュミレーション

延期になった運動会ですが、着実に実施に向けて進んでいます。今年度の運動会は、自分たちで作り上げることを目標に取り組んでいますが、現在は、各チームが考えた種目をシュミレーションしている段階です。毎週、朝の運動朝会の時間に、I 種目ずつ実施。子ども達は、実際に考えたようにうまくいくか、時間はかかりすぎないか、本当に楽しい内容になっているかなど、いろいろな視点から振り返り、改善につなげています。









職員による救命救急講習実施

今年度は、コロナウイルス感染の予防のため、残念ながらプールでの水泳は中止となりました。しかしながら、水難以外でも、子どもの心肺停止等の事故はいつ起こるかわかりません。そのため職員による救命救急の講習は例年通り実施しました。万が一に備えていければと思います。



様々なメディアで紹介されました

公立学校初のイエナプラン教育校の開校に向け、移行期間の最終年度を迎えた本校ですが、異学年での教育活動への関心も高まっていることもあり、様々なメディアで取り上げられる機会も増えています。今月は、NHK教育テレビの「ウワサの保護者会」という番組や朝日新聞出版の「AERA」という雑誌で紹介されました。

今後も来年度の開校に向け、子ども達の学びをさらに充実したものにできるよう、取り組んでいきたいと思います。

「AERA」 21年6月21日No.28号より抜粋

7月の改装工事予定

引き続き,4階及び3階のベランダ及び壁の耐震工事,また,3階の教室,1階奥の職員室工事を行っています。

日によって工事の音が大きい日 もありますが、学習場所を移動した りしながら過ごしています。





異学年で学ぶということ~あるインストラクションより~

ブロックアワーとは、イエナプラン教育特有の名称で、子ども自身が I 週間の学習計画を立て、自分で学ぶ時間のことを言います。また、自分で学ぶだけでなく、時折インストラクションと呼ばれる教師による指導や対話も組み合わせながら行います。

ある日の低学年のブロックアワーでのことです。子ども達は、いつも通り、それぞれに自分の学びを進めていました。 1 年生は、ひらがなやカタカナの学習や算数の 10 になる数のプリント、2 年生は、キュビナ (パソコンの算数ドリル)や漢字ドリル、3 年生は、漢字ドリルや算数プリントといった具合です。

子ども達の様子を見ていた先生が声をかけました。

「カタカナを読むのが苦手な子は集まって」

何人かが先生の所へ集まって,カタカナをひらがなに直す学習を始めました。

集まらなかった I 年生もいます。でもその子たちは,自分で学習を進めながら,時折わからないことがあると,周りの 2 年生,3 年生に声をかけます。

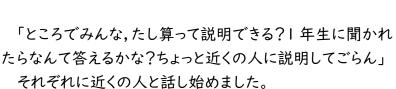
「ねえ、ちょっと教えて」

決して図書館のような静かな空間というわけではありません。 しかし、それぞれが何かしら自分の課題をもって学習を進めたり、求めに応じて教えてあげたりしている姿がりました。

そうして、1時間が過ぎた頃、先生が声をかけました。

「2 年生と3 年生は集まって」





「じゃあ,みんなにも説明してみて」と先生。

「2 つの数を合わせること!」

「でもさ, I 2+23 だったら, 4 つ数字あるよ。2 つの数っていうの?」

「3ケタの数でも2ケタの数でもたし算はできる」 思い思いに話す子ども達。先生はまた投げかけます。

「たし算と引き算は違うの?」

「たし算は数が増えていく」「引き算はとる!引く!」「食べましたとかは引き算!」 「でも食べてもたし算になることはあるよね。二人の食べた数はいくつでしょうとか」 分かったつもりのたし算のアップデート。

改めて,子ども達はたし算の意味を考えているようでした。

それぞれの学年が学んでいることに共通する概念を問い直し,互いの考えに触れながら理解をまた深めていく。そこに,異学年で一緒に学ぶインストラクションのよさのひとつがあると,私たちは考えています。





常石小学校写真館 6月の子ども達



I 学期は、ひまわり畑を目指して植え付けと水やりに奮闘中! 常石パーク。





今月も熱中して泥団子づくり



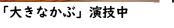


いただいたびわを数えて算数の勉強



ICTを活用した体育。見るとよくわかる!







ぼかし絵を描いたよ



警察犬に出会ったよ!



朝のサークル中

ビデオメッセージ作成!